

広報くまとり

Kumatori

クマなく読んで、あなたもトリコ。

May 2026

No.900

5

令和8年



特集面

未来へつなぐまちづくり

令和8年度に実施する主な施策

01 子育て・教育施策の推進

子育てしやすいまちが、未来を強くする

町立小中学校体育館へのエアコン設置

324,723千円

児童生徒の教育環境の向上、避難所の良好な生活環境整備のため、全小中学校の体育館へエアコンを設置します。

- 小学校(令和6・7年度設置完了)
- 中学校(令和8年度設置)



空調設備の二重の役割

既にエアコンを設置している小学校では、夏の体育の授業や集会において熱中症対策として使用しています。また、災害時に学校を避難所として開設する際には、夏や冬であっても避難者が体調を崩さないよう環境を整えます。



町立小中学校の給食費無償化

229,973千円

物価高騰の影響が大きい子育て世帯を支援します。

- 小学校は、国・府からの給食費負担軽減交付金による基準額(1食5,200円)を超える部分も本町独自に支援し、無償化
- 中学校は、国の『重点支援地方交付金』を活用し、引き続き無償化

インフルエンザ助成

402千円

受験等を控える中学3年生を対象にインフルエンザ予防接種費用の一部を助成します(1回限り、上限1,500円/人)。

保育サービスの充実

4,324千円

多様なニーズに対応した保育サービスを提供します。

- 町立保育所(3か所)における『乳児等通園支援事業(通称『こども誰でも通園制度』)(余裕活用型、利用上限10時間/月)の実施
- 小学生を対象とした夏休みの子どもの居場所づくり事業の実施(関連記事:P19)



未来へつなぐまちづくり

令和8年度に実施する主な施策

物価高騰や少子高齢化に伴う人口減少の進行など、社会経済情勢の変化に適應し、住民の皆さまが安心して住み続けることができる活力ある地域社会を維持します。将来のまちづくりを見据え、サービスを再構築し『子育て・教育』『安全・安心』を含め、本町が大切に育ててきた施策をさらに推進するとともに、『第4次行財政構造改革プラン(アクションプログラム)』の改革項目を着実に実行します。

令和8年度はこれらに加え、まず物価高騰の影響を受けている住民の皆さまを支援するため、また国の重点支援地方交付金を活用し、地域経済を活性化させるため、町内の店舗・事業所等で使用できる全住民を対象とした1人5000円の地域振興券事業を実施しています。

熊取町長 藤原 敏司



令和8年度 町政運営方針はこちらをご覧ください



03 行財政改革の推進

改革でつくる、持続可能なまち



行政キオスク端末の設置

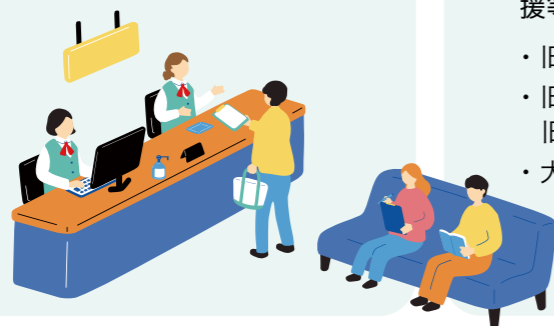
10,230千円

マイナンバーカードを使用して住民票等を発行できる『行政キオスク端末』を役場本庁舎に1台設置し、『行かない・書かない窓口推進』による住民の利便性向上を図ります。

窓口業務の委託

15,452千円

マイナンバーカード及びパスポート関連業務を民間事業者へ委託し、窓口サービスの質向上と業務効率化を推進します。



未利用地の売却推進

46,508千円

熊取町が保有する未利用地の売却による歳入確保のため、売却に向けた物件調査・用地測量・不動産鑑定・公売支援等委託を実施します。

- ・旧大原衛生公苑及び周辺地
- ・旧北学童保育所・旧東学童保育所・旧南保育所・旧町民会館分館
- ・大久保水源地跡地 他

電子入札システムの構築

6,866千円

事業者の利便性向上と業務効率化を目的とした電子入札の導入に向け、システム構築に着手します。令和9年度からは、従来の紙入札と異なり、時間・場所の制約を受けずに入札が可能となります。

町立保育所タブレット追加配備

6,769千円

令和6年度から町立保育所で本格的に導入した保育園システム『コドモン』(連絡帳機能等)をより効果的に活用し、さらなる保護者の利便性向上と業務効率化を図るため、タブレット端末を42台追加配備します。



02 安全・安心なまちづくり

災害に強く、負けないまちへ



災害に強いまちづくり

5,758千円

自助・共助・公助を基本とする地域防災力の向上や男女共同参画の視点による防災体制の強化により、災害に強いまちづくりを推進します。

- 本町で養成した女性防災士を中心とする『くまとり女性防災支援隊』の創設
- 消防団の技術力向上を図るため、大阪府消防操法訓練大会『小型ポンプ操法』へ参加



『くまとり女性防災支援隊』の創設

災害時には女性の視点にたった対応が大切とされています。そのため熊取町では、女性防災士の育成研修を実施してきました。また、女性の力を地域防災に活かすため『くまとり女性防災支援隊』を新たに結成することとなりました(関連記事:P13)。



雨水災害対策の強化

45,531千円

気候変動等による水災害への備えを計画的に強化します。

- 大雨時の道路冠水被害を防止するための浸水対策(水路改修)工事(朝代地区)
- 令和6年度の緊急点検結果に基づく雨水排水管の詳細点検調査(青葉台地区)

町立総合体育館(すまいるズひまわりドーム)の大規模改修

573,618千円

非構造部材の耐震化及びトイレ洋式化をはじめとする大規模改修を実施します。



町立図書館の大規模改修

319,520千円

非構造部材の耐震化及び若者世代の利用促進を目的としたゾーニング(空間配置)等の大規模改修を実施します。



令和8年度 当初予算

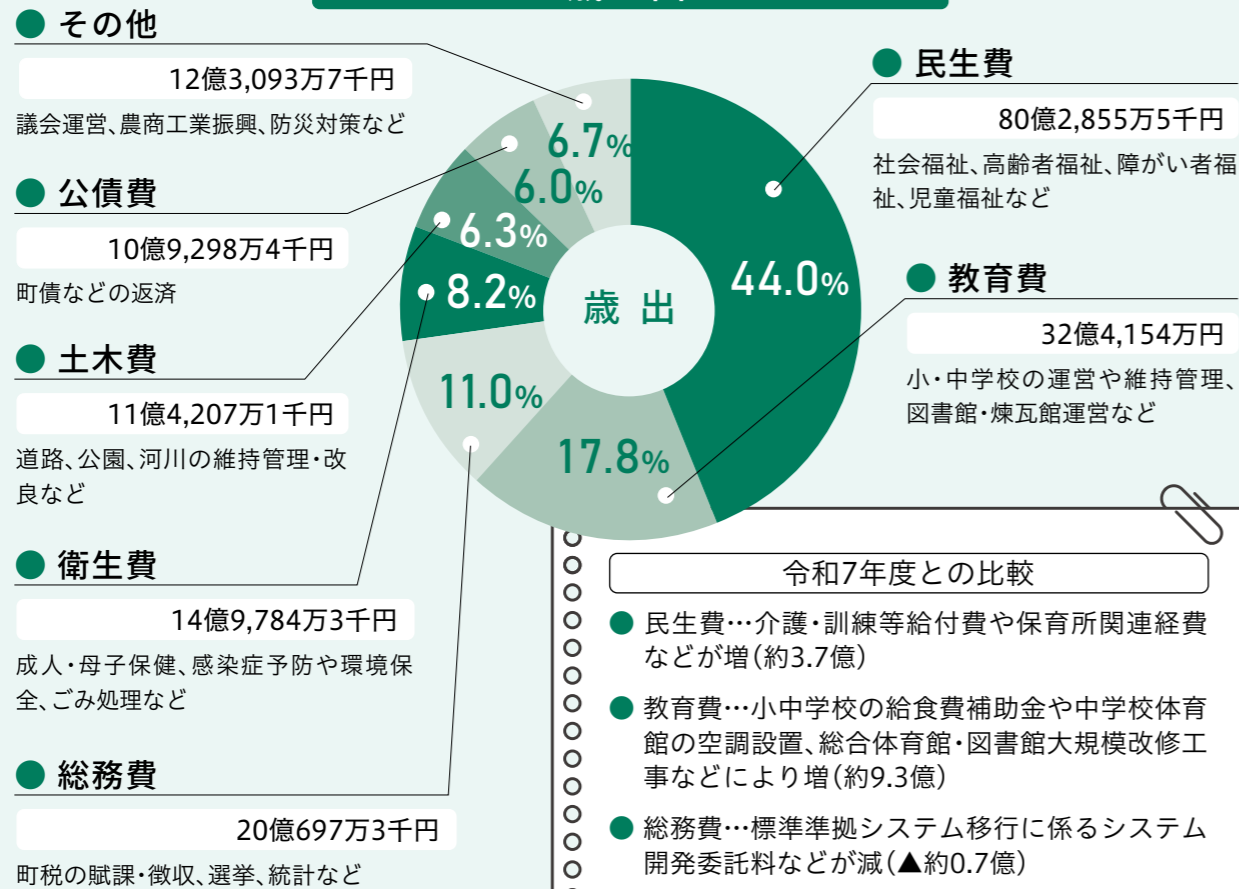


01 一般会計

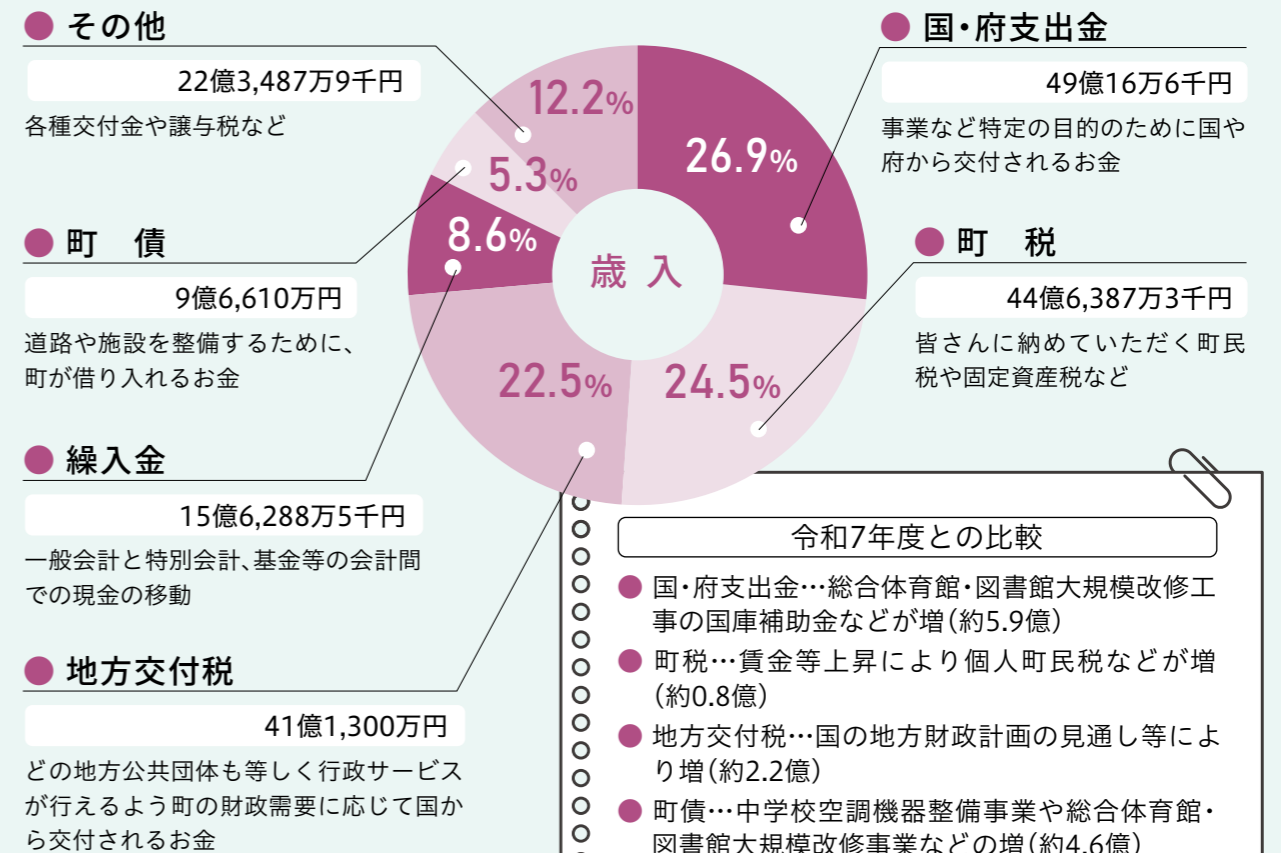
地方公共団体が福祉・教育・ごみ処理・公共事業・防災対策など、基本的な行政サービスを行うための中心的な会計。

歳入歳出予算:182億4,090万3千円 (前年度に比べて7.4%増)

歳出



歳入



第4次行財政構造改革プラン

『アクションプログラム』改革項目を着実に実行

令和8年度当初予算は、町税収入等の増加が見込まれ、一部に明るい兆しが見られるものの、依然として多額の基金繰入により収支均衡を図った厳しい予算となりました。令和7年3月に見直した【第4次行財政構造改革プラン『アクションプログラム』】の各改革項目を一つひとつ達成し、『持続可能な行財政運営』の確立に向け、引き続き行財政改革に取り組んでまいります。

※プラン及びアクションプログラムは、役場・図書館、町ホームページでご覧いただけます。



03 公営企業会計

地方公営企業法に基づいて設置され、それぞれの事業の料金収入などによって必要な経費を賄うことを基本(独立採算の原則)とする会計。本町には1つの公営企業会計があります。

本年度予算額 ※ ()内は前年比

下水道事業 …… 22億3,681万2千円(▲4.1%)

合計 305億3,773万4千円(4.8%増)

02 特別会計

特定の事業を行う場合、または一般の歳入歳出と区分して経理する必要がある場合に設置する会計。本町には4つの特別会計があります。

本年度予算額 ※ ()内は前年比

国民健康保険事業…44億6,808万7千円(▲5.0%)
後期高齢者医療…11億3,478万8千円(17.3%)
介護保険…44億1,610万8千円(7.1%)
墓地事業…4,103万6千円(26.9%)